

## 令和 7 年度第 5 回広島市環境影響評価審査会 議事録

議 題：広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書について

1 日時：令和 7 年 10 月 31 日（金）14 時から 15 時 15 分まで

2 場所：広島市役所本庁舎 14 階第 7 会議室（Web 会議併用）

### 3 出席者

(1) 審査会委員（五十音順、敬称略）

上村信行、折本寿子、香田次郎、斉藤英俊、菅谷英美、田中健路、棚橋久美子、  
中坪孝之（会長）、百武ひろ子（副会長）、保坂哲朗、松川太一、柳下真由子、吉富健一

(2) 事務局

北山環境局次長、小田環境保全課長、国寄課長補佐 他 2 名

(3) 都市計画決定権者

広島市都市整備局都市計画課 岸本都市計画課長 他 1 名

(4) 事業者等

広島市道路交通局交通施設整備部 村上交通施設整備担当課長 他 2 名  
中央復建コンサルタンツ株式会社 4 名

(5) 傍聴者

0 名

(6) 報道機関

0 社

### 4 会議概要

(1) 審査会は公開で行った。

(2) 広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書について審議を行った。

### 5 審議結果概要

(1) 広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書の内容等について、各委員から意見が出された。

(2) 広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書について、審議で出された意見に基づき、答申案を作成することになった。

### 6 会議資料

- ・資料 1 広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価手続フロー図
- ・資料 2 広島新交通西風新都線建設事業環境影響評価準備書及びその要約書
- ・資料 3 広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域の選定書

## [審議結果]

○国寄課長補佐 定刻になりましたので、令和7年度第5回広島市環境影響評価審査会を開会いたします。本日の議事は、「広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書について」です。審議は16時までを予定しておりますので、御協力よろしくお願いたします。また、本日は委員定数15名に対して、オンラインで御出席の委員5名を含め、御出席委員が12名<sup>\*1</sup>と、本審査会の定足数に達しておりますことを御報告申し上げます。また、傍聴者、報道機関の方は、いずれもいらっしません。

ここで、開会にあたりまして、環境局次長の北山より御挨拶申し上げます。

(※1 委員1名が遅れて出席したため、その後、出席委員は13名となった。)

○北山次長 環境局次長の北山でございます。委員の皆様におかれましては、御多忙の中、審査会に御出席いただき誠にありがとうございます。本日は、「広島新交通西風新都線建設事業環境影響評価準備書」について、御審議いただく予定としております。この事業は、都心を含むデルタ地域と西風新都のアクセス性を強化するとともに、JR山陽本線との直結により広島広域都市圏内のさらなる好循環を生み出すために実施するものでございます。本事業については、令和元年度に環境影響評価の項目や調査、予測及び評価の手法などの計画を記載した、実施計画書について当審査会において御審議の上、答申をいただき、それを踏まえ、市長意見を述べました。この度、この市長意見等を踏まえ、事業者が実施した環境影響の調査、予測及び評価の結果を記載した環境影響評価準備書が提出されました。委員の皆様には、本事業による環境への影響が実行可能な範囲で回避・低減されるよう、環境影響評価や環境の保全のための措置の検討等が十分になされているか等の観点から、忌憚のない御意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上、簡単ではありますが、私からの御挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いたします。

○国寄課長補佐 ありがとうございます。それでは、本日の審査会資料について、確認させていただきます。

### 【資料の確認】

○国寄課長補佐 なお、本日は、準備書の説明等をしていただくため、都市計画決定権者である都市整備局都市計画課、事業者である道路交通局交通施設整備部、準備書を作成しました中央復建コンサルタント株式会社の方にも御出席いただいております。よろしくお願いたします。

### 【事業者挨拶】

○国寄課長補佐 続きまして、「広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書」について御審議いただくに当たり、諮問書を北山次長から中坪会長にお渡しします。

### 【環境局次長から中坪会長に諮問書を手交】

○国寄課長補佐 それでは、これから先の議事進行は中坪会長にお願いします。

○中坪会長 ただいま諮問を受けました「広島新交通西風新都線建設事業に係る環境影響評価準備書」について審議したいと思います。まず、資料1につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

**【環境保全課長が資料1について説明】**

○中坪会長 御説明ありがとうございました。ただいまの御説明につきましてはよろしいでしょうか。それでは、資料2について、都市計画決定権者及び事業者から御説明をお願いいたします。

**【事業者が環境影響評価準備書について説明】**

○中坪会長 ただいまの説明を踏まえまして、委員の皆様からの御意見、御質問をお願いいたします。

○折本委員 騒音の観点から教えてください。午前中の視察で、現地は道が狭いと感じました。離合するタイミングでは、離合する車両のどちらかが止まらないといけない、スムーズにはいかないような感じだったと思います。騒音の測定ポイントは主要道路から工事用車両が入っていく予定のところだと伺いましたが、住宅街に入ったところのほうが住民の方が気になる場所かと思えます。また、離合で車両が止まった時に、その都度アイドリングストップできないのではないかと思いますので測定ポイントを選定する際は、そういう点も配慮していただきたいと思いました。近隣の方は自転車で移動する方が多いのかなと感じましたが、朝の通勤時間帯とかに工事用車両の通行がかぶってしまうと騒音以外の問題（通行者の安全性）が発生してくる可能性があるため、少し気を付けていただきたいと思います。工事用車両が入ってくる際のタイミングを考慮しますと書かれてはいましたが、通勤通学の時間帯にはならないようにしっかり工事計画を立てていただきたいと思います。警備員を付けるとは思いますが、気をつけていただきたいです。

○交通施設整備部 騒音の測定ポイントは、工事用車両が一番多くなる入口をポイントに選びました。当然、住宅街の中についても、工事用車両の影響はありますので、配慮が必要ということで、注意していきたいと思っております。

それから、朝・夕方の通勤時間帯については、住民説明会でも懸念される声がありました。特に子供の通学を気にされる声がありましたが、一般の方も含めて、工事の時に通るルート of 安全確保については配慮していきたいと考えております。地元の方と一緒に検討していくと、地元の方にもお答えしております。

○百武委員 景観のところでお聞きしたいのですが、フォトモンタージュで高架になっている部分は壁が立っているように見えるのですが、高架下の活用については何か検討されているのでしょうか。

○交通施設整備部 フォトモンタージュで立っているように見える壁は、駅舎の壁です。そのため、壁の内側は駅として改札などで使用するということになります。また、この部分以外の高架下につ

いては、保守点検車両等で定期的に維持管理をしていく必要があります。そのため、建物等は建てられないのですが、周辺住民の方からは送迎スペースの確保を求める声もありますので、そういった活用を検討していきたいと思っております。

**○百武委員** 駅舎の作り方も景観に影響してくるかと思います。今のイメージだと非常に閉鎖的に見えてしまいますので、例えば駅舎の一部をガラス張りにして駅舎内が見えるとかそういった工夫も景観に影響するかなと思いました。

**○交通施設整備部** これから詳しい設計をしていきますので、まだ決まっていないのですが、そういったところも配慮していければと思っております。

**○上村委員** フォトモンタージュで示されている景観の予測の8地点に関して、五月が丘に住んでいる方が自分の家の前に高架が立った時にどう見えるのかということが気になるのではないかと思います。それを考えるとV1地点だけではなく五月が丘団地内の路線のあたりにももう少しフォトモンタージュの地点を増やして説明したほうがより理解が深まるのではないのでしょうか。

**○交通施設整備部** 景観の配慮については、こちらの審査会から実施計画書段階で御意見をいただきました。まず、駅のところには壁ができますので、地元の方にとって大きく景観が変わるのではないかとということで選定させていただきました。また、御指摘いただきましたように駅以外の橋脚の部分については壁という形にはならず、上部に橋桁が続いていきます。駅舎部分よりは圧迫感が少ないとは思っていますが、地元の説明会でも気にされる声がありましたので、そういったイメージは作成しまして、現在ホームページで公開しています。こういったことを地元で周知していきたいと考えております。

**○香田委員** 廃棄物に関してお尋ねします。まず、建設発生土の処理・処分方法について、事業計画地での再利用で処理しきれないものについては、他の公共工事現場に流用するということですが、現時点でどの程度、事業計画地で処理できるかという見積り等あれば教えていただきたい。また、要約書の15ページの表3.1.1の一番下に廃棄物の再利用ということで駅舎から排出される廃棄物の記載があります。今回、環境影響評価項目として駅舎の存在は設定されていなかったのですが、細かい廃棄物の発生量やリサイクルがどの程度の見積もりがされているのでしょうか。あと、実施計画書段階では計画になかった車両基地からの廃棄物や、車両洗浄線が設けられるということで、その排水発生量の見積りや低減させるような考えはありますでしょうか。

**○中央復建コンサルタンツ株式会社** 工事中の発生土について、現時点で発生土量がどの程度かというのは、設計図から計算した量を示しています。再利用に関しましては、仮置き等の具体的な工事計画が絡んできますので、現時点で想定はできておりません。アセス上は全て搬出した場合の最大数量を示していますので、再利用できれば量が減っていくと考えています。駅舎に関しましては、供用中は予測の対象としておりません。一般的な配慮事項として、準備書にも入れており、排出量等の予測はしていません。

車両洗浄による排水について、車両基地は場所を検討した段階です。排水は基本的に公共下水道と接続して、排除基準を遵守しながら排水する予定です。そのため、公共用水域に流出するといった

ことはない計画としております。

○**田中委員** 大気質について、地域住民の方が気になるのは、建設機械からの排出ガスではないかと思えます。図書には、横断計画の図面や施工概要のイメージ図がありますが、例えば、クレーンやくい打ち機等は結構スペースを取るのです、そのスペースが十分に確保できるのでしょうか。また、施工する際に近隣の住宅や住民への影響をどの程度考えていらっしゃるのでしょうか。

○**中央復建コンサルタンツ株式会社** 建設機械に関する大気質の評価に関しましては、準備書の167ページから記載しておりますが、予測結果としては214ページに示させていただいております。NO<sub>2</sub>とSPMを予測しまして、NO<sub>2</sub>でしたら日平均の年間98%値、SPMでしたら日平均値の2%除外値について、それぞれ環境基準を満足するという評価になっています。

どういう形で予測しているかといいますと、207ページをご覧ください。ユニットという形で、今回使用する建設機械を設定しまして、動いたときに大気質がどうなるかというのが先ほど見ていただいた結果です。確かに近接施工ですので、建設機械については排出ガス対策型を使用するよう施工業者に指導したり、アイドリングストップであったり初歩的な環境配慮かもしれませんが、そういったところを徹底して、環境影響を低減していくことを考えております。

○**田中委員** 207ページから図がありますが、オレンジの点が排出源で、その直近で検出される濃度を予測した結果、基準値を十分下回るので問題ないということでしょうか。

○**中央復建コンサルタンツ株式会社** そのような結果が出ております。同じ図の中の赤の四角で示している地点で予測を実施し、駅周辺などが一番影響が大きくなります。ここでは表現していませんが、面的に検討して最大地点を示しています。

○**斉藤委員** 生態系について質問があります。特殊性の部分で谷戸湿地の生物群集が挙げられていますが、似たような環境は近隣にあるのでしょうか。

○**中央復建コンサルタンツ株式会社** 調査範囲は事業計画区域から250mで行っていきまして、その範囲内では同様の環境はありません。

○**斉藤委員** 広島市内ぐらいに範囲を広げればあるのでしょうか。

○**中央復建コンサルタンツ株式会社** それはあると思えます。

○**中坪会長** 午前中の視察は、雨で谷戸湿地の奥までは見られなかったのですが、少し想像で話をしていますが、図面で見ると南側の樹林を削ることになるかと思えます。写真を見るとやや暗くなっているように見えます。準備書には光のことは書かれていませんが、樹林を拓いたときにぱっと明るく光が入ってくるようになると、他の陽生植物が入ってきてここで評価しているよりも大きな変化が起こる可能性もあると思えますが、その可能性についてはいかがでしょうか。

○**中央復建コンサルタンツ株式会社** 周辺の樹林を伐採する範囲をできるだけ小さくすることを配

慮事項にしています。今のところ日向がどこまで広がるかというところまでのシミュレーションはしていない状況です。

○中坪会長 言及されていない部分ですが、こういうところは急に明るくなると植生が変わってくる可能性はあり得る話なので少し注意が必要かなと思います。今回調査した中で、生物関係に関して一番希少な場所になりますので、変化は最小限にするようお願いできればと思います。

○保坂委員 動物関係ですが、要約書の93ページの表の5.10.3に重要種と呼ばれるものが載っています。大体どれも工事により本種の生息環境の一部が消失するが、周辺にも本種の生息環境は広く残るので、あまり影響はないという結論ですが、この一部というのが気になりました。どの程度を一部と表現しているのでしょうか。10%なのか、50%ぐらいなのか、80%ぐらいだったりするのでしょうか、一般的に一部と言ったら少ないので、少なくとも半分以下という認識でよろしいでしょうか。

○中央復建コンサルタンツ株式会社 今回は線状の開発で面的な開発ではないので、生息環境の半分以上が削減されるというようなことはございません。種によって異なりますので正確な数字はすぐにお出しできませんが、基本的には数%程度で、大部分は残っていきます。

○保坂委員 準備書にも生物も改変する区域以外のところから見ただけということなので、おそらくそんなに影響は大きくはないとは思いますが、確認のために質問させていただきました。

○吉富委員 水質のところ、トンネル工事をするときに土砂が出て、それを仮置きする場合はシート張りを行うという記載があります。トンネル工事では結構な量の土砂が出てくると思いますが、これは速やかに区域外に排出されるというイメージなのでしょうか。

○交通施設整備部 今後、詳細な設計を進めていきますが、今回のトンネルは断面が6mとかなり細いトンネルです。大規模な断面のトンネルと比べるとあまり施工性はよくないトンネルですので、土の排出速度もかなり遅くなると考えており、適切に排出していきたいと考えております。どんどん土が出てくるといったような想定はしておりません。

○吉富委員 仮置き場ができるとすると、トンネルの出口にできる計画でしょうか。

○交通施設整備部 ヤードの設定の仕方にもよりますが、当然限界もあると思いますので、公園周辺で足りないということになればまた別途設けることも検討していく必要があると考えております。

○吉富委員 トンネルは西縁断層を横断しているので水が大量に出てきた時には、公共用水域に流れ出す水質を見ておく必要があると思いますが、そこに関してはいかがでしょうか。今回、水象は井戸、貯水槽等の3か所しか観測されていないようです。

○交通施設整備部 トンネルから出てくる排水については、今後の詳細設計の段階でどのくらいの量になるかを考えていくことになるかと思えます。仮に大量に出ることがあれば、別途調査をして

いこうと思っております。

○中坪会長 1つ小さいことですが、439 ページにイチョウウキゴケの写真がありますが、ちらっと見たときにウキクサかと思いましたが、真ん中の1個体がそのようなので、今後何かに使うことがあれば、赤丸をつけるなどしていただければ分かりやすいかと思えます。

それでは、御意見がないようでしたら時間は早いのですが、本日の審査会はこのあたりで終わらせていただきます。事務局は、本日の議事録を取りまとめて、各委員に届けてください。また各委員の御意見等を踏まえて、本審査会の答申案を作成してください。それでは、事務局から今後の予定について説明をお願いします。

○小田課長 本日は、長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。会長から御指示いただきましたとおり、本日の議事録を取りまとめた上で、委員の皆様の御意見等を踏まえた答申案を作成させていただきます。本日、御発言いただいた事項のほか、追加の意見等がございましたら、11月7日（金）までに事務局までお知らせください。次回の審査会は、市民意見とその意見についての事業者見解が提出され次第、開催したいと考えておりますが、あらためて後日ご連絡いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、よろしくお願いたします。

○中坪会長 ありがとうございました。皆様お忙しいことと思えますけれども、よろしくお願いたします。それでは本日の審査会はこれで終了となります。